

2023年度

決算のお知らせ

収入合計	39億7,000万円
支出合計	34億2,200万円
収入支出差引額	5億4,800万円

アボット健康保険組合の2023年度決算が、2024年7月16日に開催された第31回組合会において、可決、承認されましたのでご報告いたします。

一般勘定

概要

2023年度決算は、加入事業所の減少に伴い、保険料収入や保険給付費の減少が見込まれていましたが、新規加入者増により、当初の予算を上回る支出となりました。そのため急遽収入予算を変更、繰入金を増やし、何とか5億4,800万円の黒字決算となりました。ただし経常収支は1億600万円の赤字となっています。

収入について

収入の大部分を占める「保険料収入」は、新規加入者の増加、及び平均標準報酬月額伸び等もあり、当初予算額より2億8,900万円増の32億4,800万円となりました。

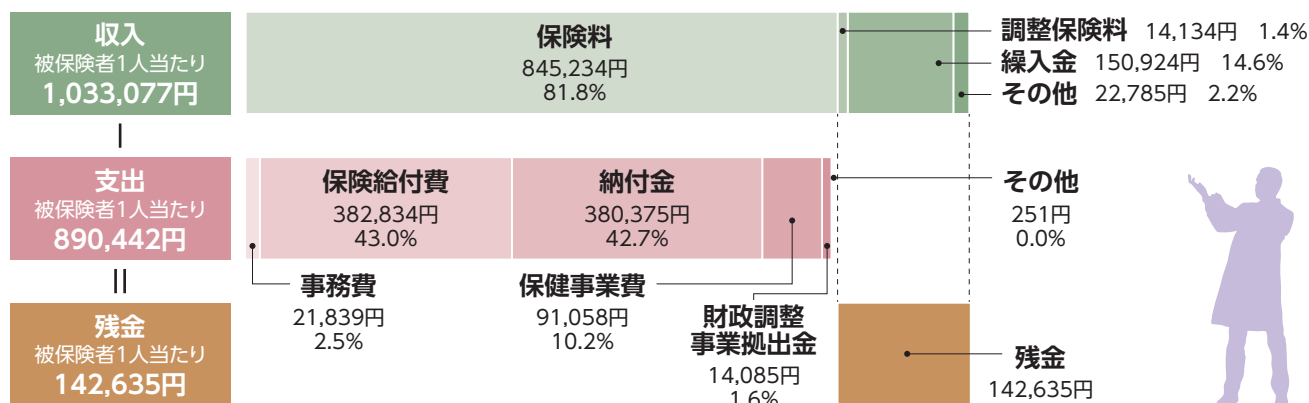
支出について

2023年度決算では被扶養者の増加が医療費に大きく影響し、保険給付費(みなさんが病気やけがをしたときの医療費等)が当初予算に対し123.6%という大幅増の14億7,100万円となりました。当初予算では加入事業所の減少を考慮し、対前年度比2億3,200万円減の11億9,100万円を見込んでいたため、繰入金を充当して対応いたしました。

また、アボット健保の大きな負担となっている納付金(健康保険組合が国に拠出している高齢者のための医療費)は、対前年度比1億2,600万円増の14億6,200万円となり、1人当たりの金額も332,093円から380,375円と4.8万円以上増えました。納付金は、今後ますます増加する見込みのため、アボット健保の負担はさらに重くなっていくものと予測されます。

保健事業費については、前年度より1,200万円増の3億5,000万円支出しました。みなさんの健康づくりの支援として、健診費用補助(オプション検査、二次検査・再検査含む)では2022年度から始めた「子宮頸がん検査の対象年齢の引き下げ(20歳以上)」、「被扶養者健診受診促進キャンペーン(被扶養者が基本健診を受けた場合、被保険者に3,000ポイントを付与)」を引き続き実施し、2023年10月からは予防接種費用補助の見直し(インフルエンザ予防接種の費用補助引き上げ、対象となる予防接種の拡大、支給方法にポイント制を導入)を行いました。2023年度に実施した主な保健事業については4~5ページに掲載しています。

グラフで見る収支(一般勘定)と1人当たりの金額



2023年度収入支出決算(一般勘定)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人当たり額 (円)
収入	保険料収入	3,248,234	845,234
	調整保険料	54,316	14,134
	繰入金	580,000	150,924
	その他	87,563	22,785
	合計	3,970,113	1,033,077

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人当たり額 (円)
支出	事務費	83,922	21,839
	保険給付費	1,471,230	382,834
	納付金	1,461,782	380,375
	保健事業費	349,934	91,058
	財政調整事業拠出金	54,127	14,085
	その他	974	251
	合計	3,421,969	890,442
収支差引額		548,144	142,635

介護勘定

2023年度収入支出決算(介護勘定)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人当たり額 (円)
収入	保険料収入	573,845	234,155
	その他	2	1
	合計	573,847	234,156
支出	納付金	477,480	202,322
	その他	0	0
	合計	477,480	202,322
収支差引額		96,367	31,834

健康保険組合では、40歳以上の方の介護保険料の徴収を国から代行し、介護納付金として国に納めています。アボット健保では国に納める介護納付金が年々増加していますが、介護保険料率は前年度と同じ20%で料率を維持しました。2023年度は、一般勘定同様、保険料収入が増加したため、9,600万円の黒字となり、決算残金9,600万円は法定準備金に積み増しました。

2023年度実施

アボット健保の 主な保健事業

健康診断の費用補助

一般健診、生活習慣病健診、人間ドック、巡回レディース健診及びオプション検査等の費用補助を行いました。

基本健診

1事業所の脱退により受診者自体は減少しましたが、被保険者の受診率は91.6%でした。しかし、被扶養者の受診率は41.0%でいまだに低い状況です。

	被保険者	被扶養者	合計	前年差
人間ドック	1,852名	325名	2,177名	-170名
生活習慣病健診	1,037名	292名	1,392名	-121名
定期健康診断	549名	46名	595名	-79名
合計	3,438名	663名	4,101名	-334名
前年差	-245名	-102名	-331名	

●2次検査(再検査)の費用申請について

やむを得ない事情がある場合を除き、基本健診(一般健診・生活習慣病健診・家族健診・特定健診・人間ドック) **受診後3カ月以内の検査(6カ月以内の申請)**が補助の対象です。期日を過ぎてからの受診は保険診療となります。

※経過観察や自己判断、自覚症状があつての受診もすべて保険診療となります。

オプション検査

オプション検査の多くは無料であり、自己負担のある検査はカフェテリアポイントを使って検査を受けることができます。被扶養者の受診者が増加したこともあり、婦人科検診を受ける人が増加しました。

●オプション検査の費用申請について

やむを得ない事情がある場合を除き、基本健診(一般健診・生活習慣病健診・家族健診・特定健診・人間ドック) **受診当日に受検された検査**が補助の対象です。翌日以降に受検された場合は補助対象外となります。

特定健診

1事業所の脱退により、駆け込み受診があつたため80%の受診率となりました。

特定保健指導

国では2023年度末で実施率45%を目標値としていましたが、アボット健保の実施率は20.7%でした。対象になつた方には、積極的に保健指導を受けていただく必要があります。

	対象者	申込者(申込率)	終了者(終了率)
積極的支援	242名	88名(36.4%)	62名(70.5%)
動機付け支援	298名	77名(25.8%)	50名(64.9%)
合計	540名	165名(30.6%)	112名(67.9%)

被扶養者健診受診促進 キャンペーン

2022年度から20歳以上の被扶養者の健診受診率向上のため、対象となる被扶養者が基本健診を受診したら、被保険者にカフェテリアポイント3,000ポイントを付与するキャンペーンを実施しています。引き続き2023年度も実施しました。

重症化予防対策

血糖・血圧が基準値以上の方に対し、保健師等の専門家によるサポートプランを実施しました。

健診MYページの運営

ホームページ上で「健診MYページ」を開設し、健診結果に対するリスク度の解説、Web上でのメタボ対策支援を実施しました。

ホームページの運営

各申請書のダウンロード、限度額適用申請、インフルエンザ予防接種費用補助の電子申請をはじめ、健診の予約、健診結果等も閲覧できます。英語版も公開しています。

予防接種費用補助

上限4,000ポイントとして、2,511名の方にインフルエンザ予防接種費用補助を行いました(申請1,830名・集団接種681名)。また、2023年10月より予防接種費用補助の範囲を拡大し、乳幼児の予防接種として25名、成人の予防接種として21名に費用補助を実施しました。**費用補助は接種日から3カ月以内の申請が対象です。また、今年度より予防接種費用補助は通年となりました。**

*補助金のお支払いは口座への振り込みではなくカフェテリアポイントでの支給となります。

*全ての予防接種は電子申請できます。

カフェテリアプランによる各種サービス

2024年4月在籍者の被保険者へ30,000ポイント(年度途中取得者は月割)付与しました。2023年度の利用ポイントは123,947千ポイントでした。使用されなかったポイントは2024年度への繰り越しとなりました。

カフェテリアプラン 人気ランキング

1位	健康関連用品	4,510万ポイント(146.6%)
2位	医薬品購入	4,010万ポイント(96.5%)
3位	健康診断	2,170万ポイント(103.0%)
4位	旅行・宿泊	982万ポイント(132.2%)
5位	健康食品・サプリー購入	499万ポイント(132.0%)

※前年度比

機関誌「ふあみりんく」の発行



健保の広報誌として年に2回(5月・10月)発行し、みなさんのご自宅に送付しました。予算・決算など重要事項のほか、保健事業の利用方法の案内や、「データヘルス計画」シリーズなどを掲載しました。また、4月に被保険者全員に「アボット健保ガイド」を配布しました。



巡回歯科健診

巡回歯科健診を実施しました。歯科医師による口腔検査と歯科衛生士による衛生指導を行いました。

こころの健康相談

メンタルヘルスへの対応として電話・メールによるこころの相談を実施しました(相談件数87件)。LINEでカウンセリングの予約もできます。ぜひご利用ください。
※詳細につきましては7ページをご覧ください。

Web上での医療費明細

健康や医療費に対する認識を深めていただくため、健保のホームページ上で医療費の実績を通知しました。また、税制改正に対応し、確定申告にも使用できるようになっています。

育児誌の無料配布

子育てをする被保険者、被扶養者の支援ツールとして1年間提供いたしました(新規申込95件)。

無料歯科健診

全国の提携歯科医院で健診を無料で受けられます。